

京都大学 大学院情報学研究科 通信情報システム専攻
「プログラム意味論」 平成 26 年度 レポート課題 (五十嵐担当分)
五十嵐 淳 (京都大学 大学院情報学研究科 通信情報システム専攻)
平成 26 年 6 月 24 日

成績評価は,

- 演習システム (25 点満点)
 - 解答締切: 8/8(金) 23:59:59
 - 範囲: EvalML3 まで, EvalML4, TypingML4, PolyTypingML4 (リストについての問題は適宜範囲外とする), (末永先生担当分の) While
 - 範囲外の問題も解いてある分については加点する. 説明は, 教科書や <http://www.fos.kuis.kyoto-u.ac.jp/~igarashi/CoPL/> の補助資料として公開されている.
- レポート (25 点満点)
 - 以下の課題を A4 数ページにまとめ, 紙と pdf ファイルの両方で提出せよ.
 - 締切: 8/8(金) 17:00
 - 提出先: 情報学研究科事務室レポート提出ボックス (紙), fsem14@fos.kuis.kyoto-u.ac.jp (pdf)

で行う.

レポート課題

- 新しい導出システムをひとつ与え, その導出システムにおける導出例を 3 つ与えるとともに, どのように対象をモデル化したかを説明せよ.
その上で, その導出システムが満たすと思われるメタ定理をひとつ述べよ. 新しい導出システムは講義で扱ったものを拡張・改造したものでも構わないが, 身のまわりから (プログラミング言語とは関係のない) 対象を取りあげてもよい.
- 講義中に登場した概念の中で, 重要だと考えるものをふたつ以上取りあげ, その重要性とともに説明せよ.
- 演習問題をどのような考えで解いたか, 解く際に行った工夫, 演習システムに対する要望, 講義の感想を述べよ.
- (オプション) テキスト中にあるメタ定理の中で, 講義で証明していないものをひとつ取りあげ証明せよ.